

# フリークラウドサービスを利用した 木材需給情報の集約支援ツールの開発

## はじめに

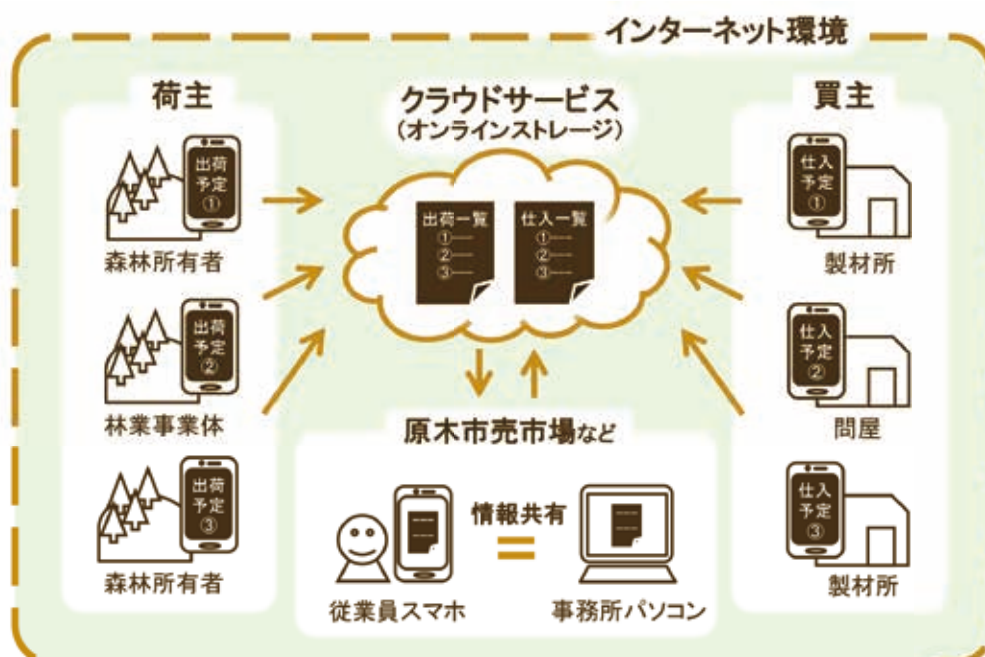
三重県産の原木は、約半数が原木市売市場を介して流通します。その原木市売市場は、県内の多くの製材工場が原木の仕入れ先として利用しており、県内の素材生産と原木消費を結び付ける木材流通の要としての役割を担っています。一方で、多様化する木材ニーズに適時的確に対応するため、川上から川下にいたる木材流通全体が効率化や低コスト化を求められています。原木市売市場においては、荷主の原木出荷予定や買主の仕入計画など需給情報を収集・発信する機能を強化し、荷主と買主の希望を効果的にマッチングすることが重要となっています。

三重県林業研究所では、原木市売市場によるマッチングの支援を目的に、「原木を売りたい荷主」と「原木を買いたい買主」から寄せられる木材の需給情報の規格化・電子化と、リアルタイムで効率的な情報集約を支援するツールを試作しました。



## 需給情報の集約支援ツールの仕組みと使い方

今回のツールは無料のクラウドサービス※<sup>1</sup> を利用しており、インターネットを閲覧できる環境であれば、いつでも、どこでも利用できます。荷主は、出荷予定の原木の情報（出荷時期、出荷量、材長など）を、市場の情報入力フォームに入力します。買主は、仕入れたい原木の情報（仕入期限、仕入量、製材・加工用途など）を、市場の情報入力フォームに入力します。荷主・買主が入力した情報は、随時、クラウド上で出荷一覧表および仕入れ一覧表に整理されます。市場は、事務所でも出張先でも、インターネットに接続して、クラウド上の一覧表に整理保存された最新の情報を確認することができます。



需給情報の集約支援ツールの概要

※<sup>1</sup>：ネットワーク経由でデータやソフトウェアをサービスとして利用者に提供するもの。  
例：Web メールや SNS、オンラインストレージなど

# 木材需給情報の集約支援ツール（試作版）

- ・用意するもの パソコン、スマホ、タブレットなど、インターネットを閲覧できる端末  
クラウドサービス※2 のアカウント※3
- ・入力内容 (荷主) 荷主番号、出荷時期、出荷量、伐採地域、林齢、材長、径級  
(買主) 買主番号、仕入期限、仕入量、製材・加工用途、材長、径級、規格

## ■ 情報入力フォームイメージ (左：荷主、右：買主)

(左右ともにスマホ表示画面)

## ■ 一覧表イメージ

(上：買主仕入情報、下：荷主出荷情報)

(上下ともにパソコン表示画面)

※2：今回は Google LLC が提供する無料サービスを利用しました  
※3：市場のみ

## 情報集約支援ツールの特徴

**情報の規格化と電子化** …………… 情報収集に必要な対面や電話対応の時間を縮減します。入力フォームが、時期や量など基本的な情報を規格化し、電子データとして整理保存するため、効率よく情報を把握、確認することができます。

**リアルタイムの情報共有** …………… 採材指導や特殊材の手配、桧積みに必要な最新の需給情報を手元のスマホで確認できます。クラウド上で情報を共有管理するため、共有者はいつも最新の情報にアクセスできます。

**様々な応用方法** …………… 入力フォームの設定内容を変えると、複数の人や組織または複数業務のスケジュールを共有管理するツールとして利用できます。例えば、在庫管理、共同利用する機械や施設の予約管理、林業事業体の年間事業計画など工夫次第で応用範囲は広がります。